

【作り方説明書】

蝶結び帯/蝶結び帯 2

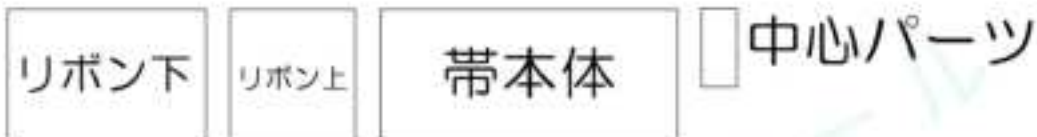
■詳細対応サイズ ・ 40cm ソフビ ・ 50cm ソフビ	■難易度 【イージー】/ノーマル/ハード/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地の厚み 0.25mm-0.81mm	■用意するもの ・ 普通～やや厚手の生地 ・ 接着芯 ・ 帯締め用の紐 2 本 ・ 面ファスナー
■手縫い可否 OK	■布に書き写すパーツリスト ①リボン上 1枚→そのまま 1枚 ②帯本体 1枚→ // ③帯揚げ 1枚→ // ④中心パーツ 1枚→ // ⑤リボン下 1枚→ // 合計：5枚 のパーツで構成

■必要な布量参考数値

【蝶結び帯の型紙 40cm】

横90cm, 110cm, 140cm

縦15cm

縦31cm
*別布

帯揚げ

【蝶結び帯2の型紙 50cm】

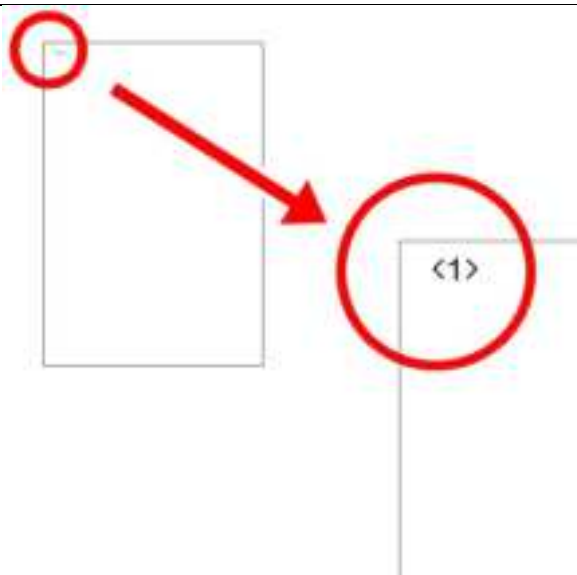
横90cm, 110cm, 140cm



01. 型紙を貼り合わせる

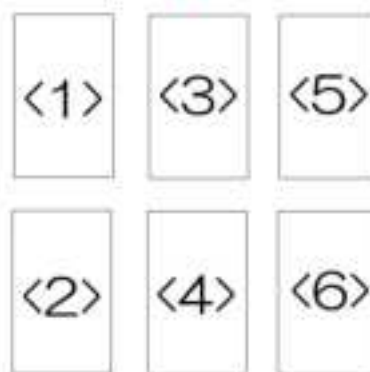
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

（番号は型紙の左上に記載
 ※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる
 枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については
 各型紙をご覧ください。

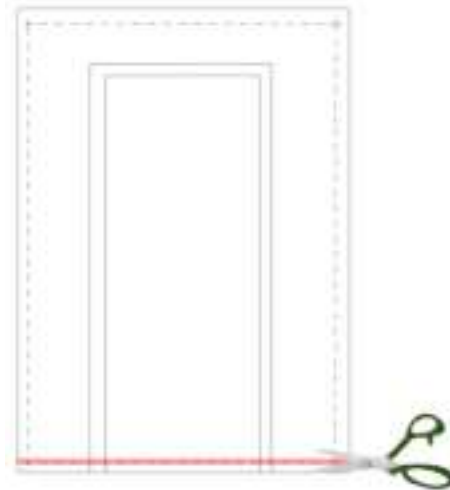


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

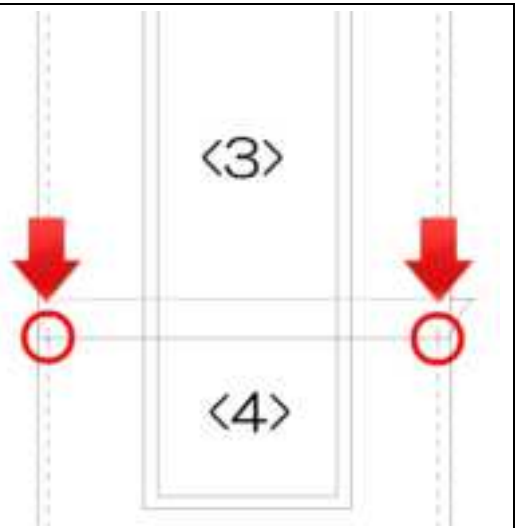
「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

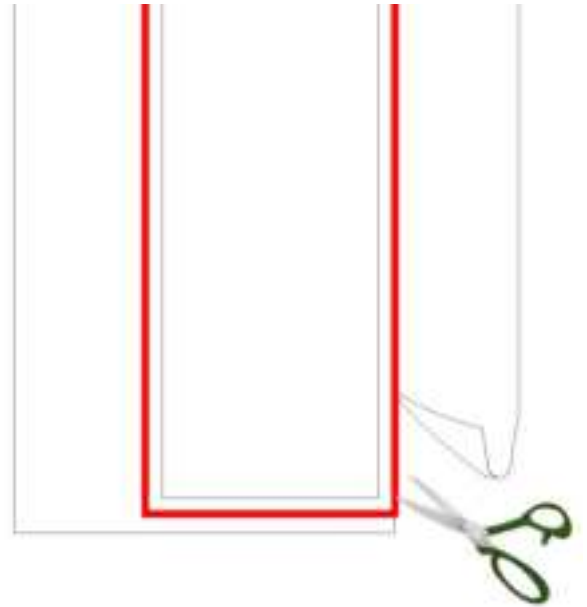


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



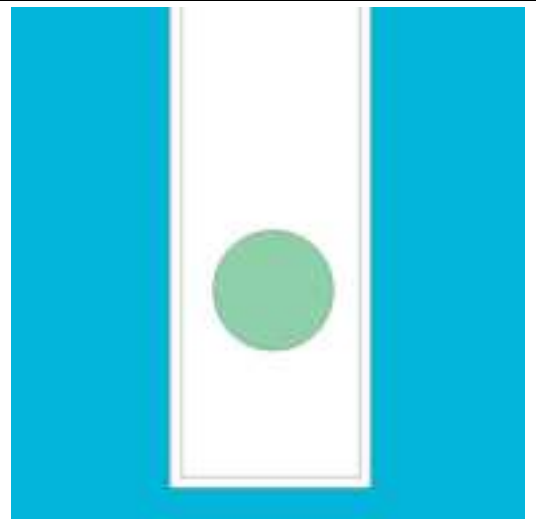
02. 型紙を切り取る。

〔 02~07 の右図は全型紙共通で使用
しています。〕



03. 布を裏にして型紙を置く。

〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動
かない様にする。〕

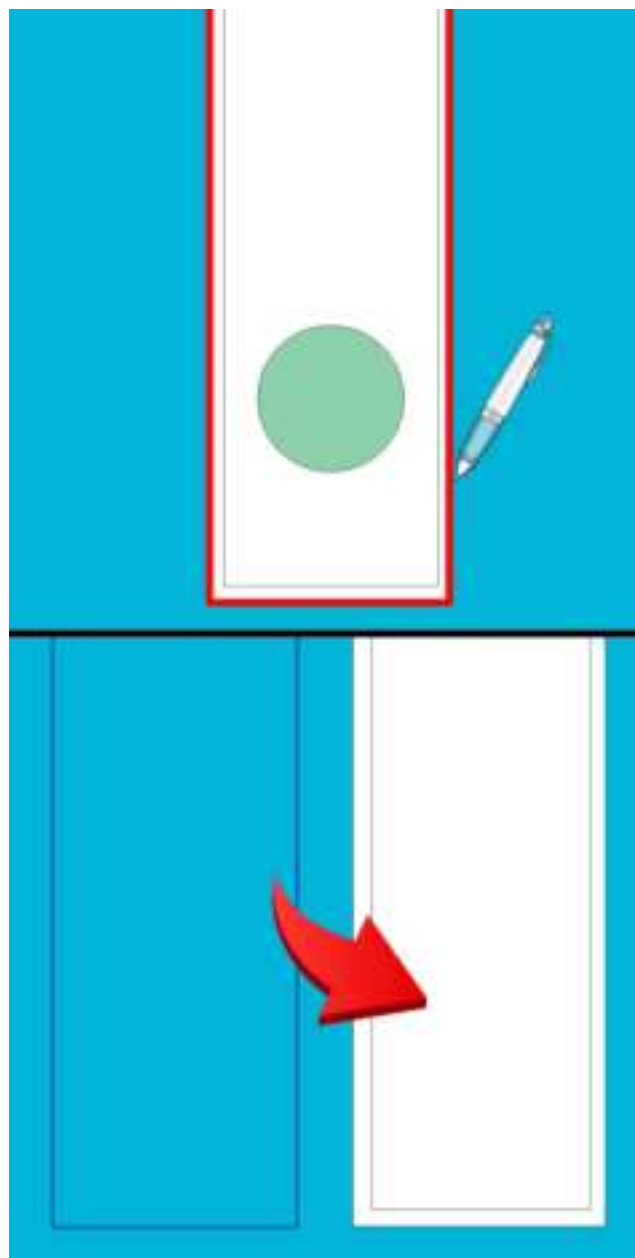


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

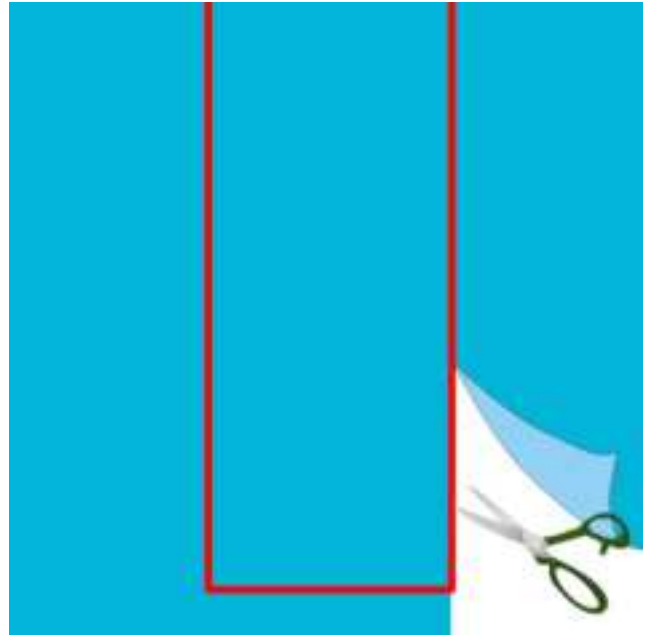
※オススメのチャコペン

・カリスマシャープペンシル(使用中)

・クロバー 水性チャコペン

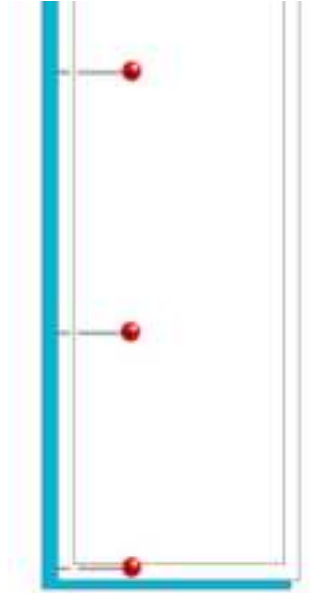


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

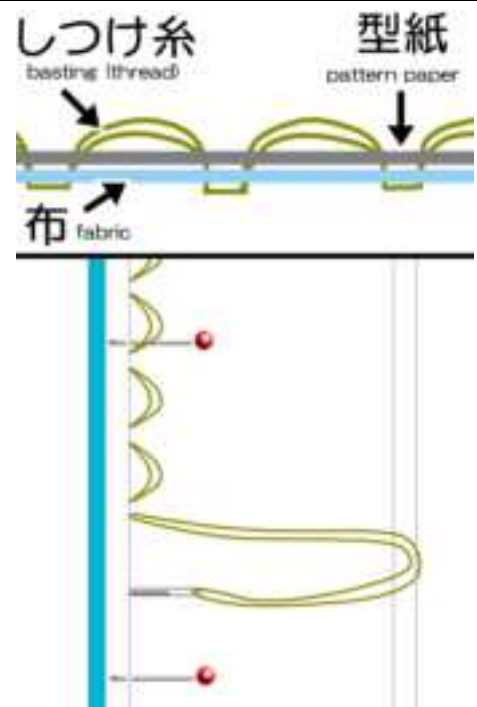
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

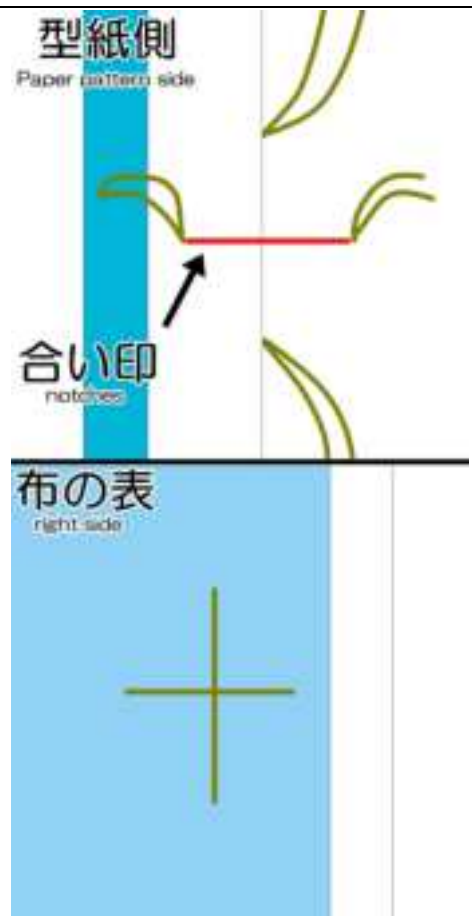
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕

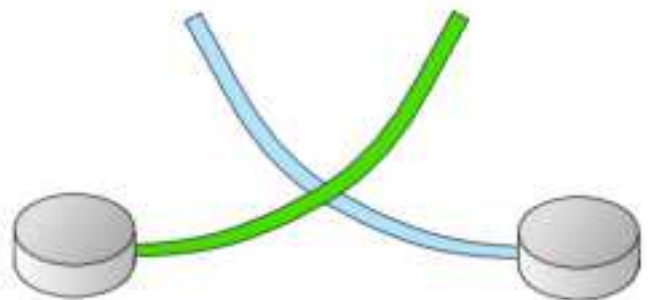


⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。

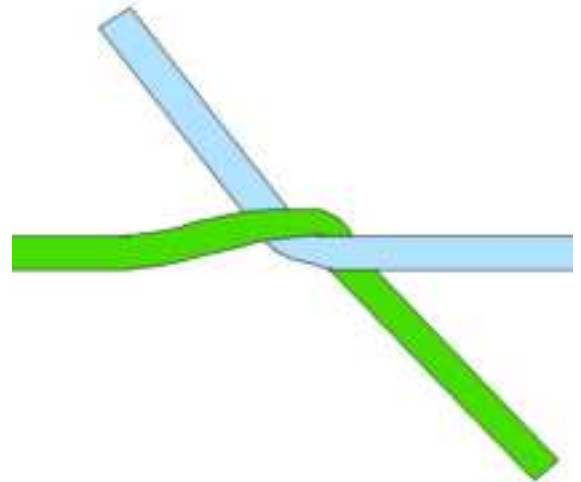


08. 帯締めを結ぶ。

- ① 帯締め用の紐 2 本の両端を、
動かない様に重り等で固定する。
〔紐が動かなければ良いので、
重りはなんでも OK。〕



- ② 左の紐が下、右の紐が上になる様に結ぶ。



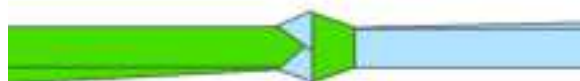
③ 上の紐を下へ折り返し、中心を押さえる。



④ 下の紐を、上の紐の輪に通す。
〔③で押さえた中心はそのまま動かさない。〕



⑤ 紐の両端を引き、形を整える。



09. 帯本体と一重太鼓に接着芯を貼る。

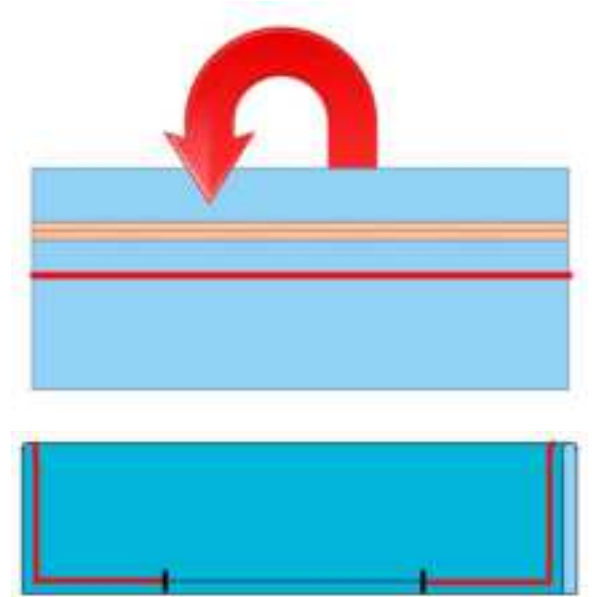
〔アイロンをスライドさせず、上から押しあてる様にする。
厚手の生地（人間用の帯など）の場合は、
接着芯は不要な事もある。
使用生地が薄い場合は、
リボン上、リボン下、中央パーツにも接着芯を貼る。〕



10. 帯締めを帯本体に固定する。

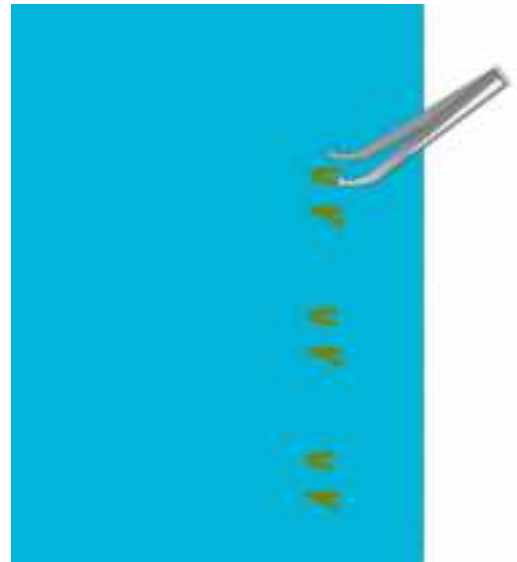


11. 帯本体を表が内側になる様に折り、開き止まりまで縫う。



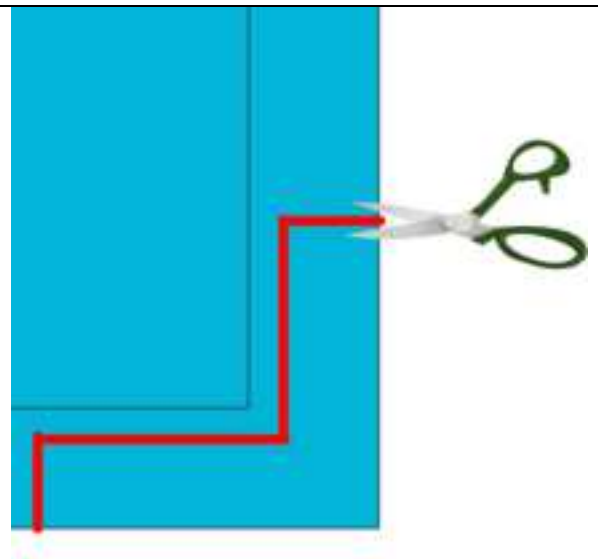
12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕

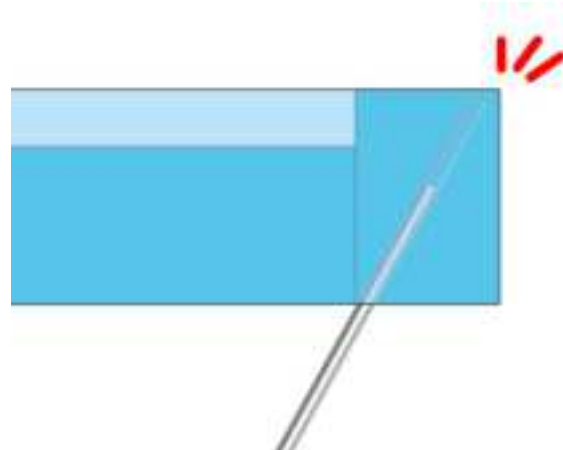


13. 角をカットする。

〔反対側も同じようにカットする。〕

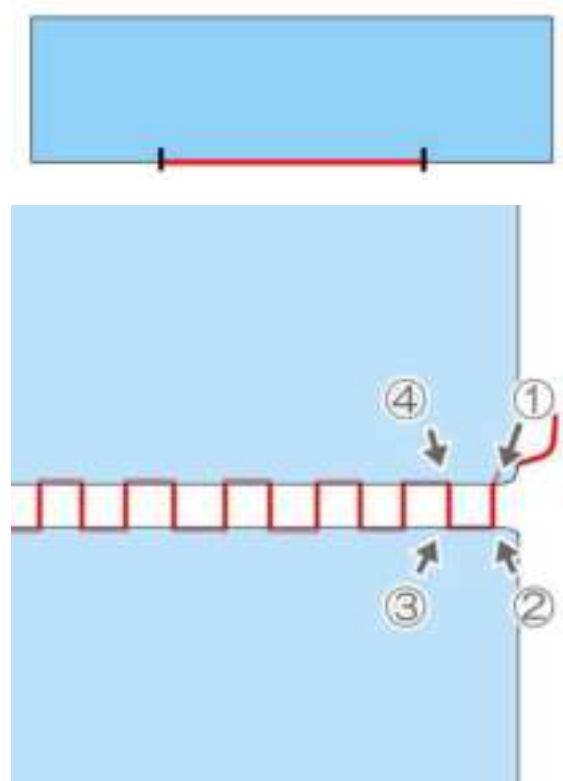


14. 表に返して、太い針の“糸を通す方”
で角を優しく押し出す。
〔 反対側も同じように整える。



15. 開きを“はしごかがり”でとじる。

- ① 布の裏側から針を刺す。
 - ② 反対側に針を刺し、布を 4mm 程すくう。
 - ③ ②ですくった先から針を出す。
 - ④ 反対側に針を刺す。
 - ⑤ ①～④を繰り返す。
- 〔 針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが
違う等のトラブルが起き辛い。



16. アイロンを掛ける。



17. 面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。



18. 面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。

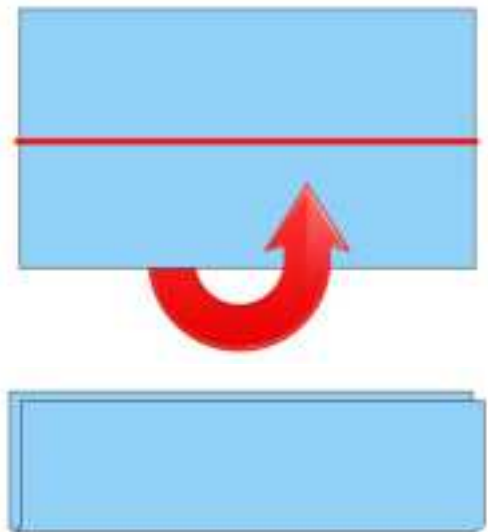


19. リボン上、リボン下も 11~16 と同じ様に縫う。

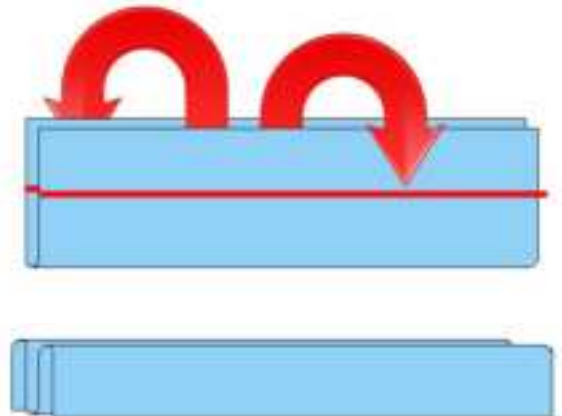
【蝶結び帯 2 のみ】リボン上とリボン下を重ねる。



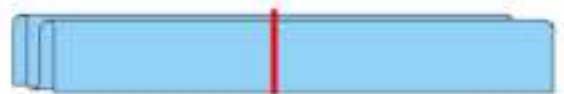
20. リボン上を中心に折る。



21. 更に中央を左右に折る。




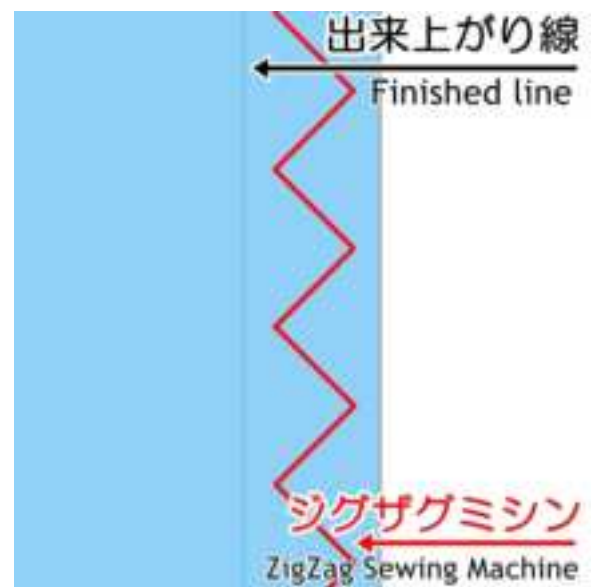
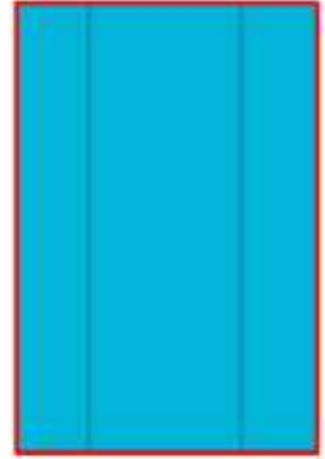
22. 縦中央を留める。



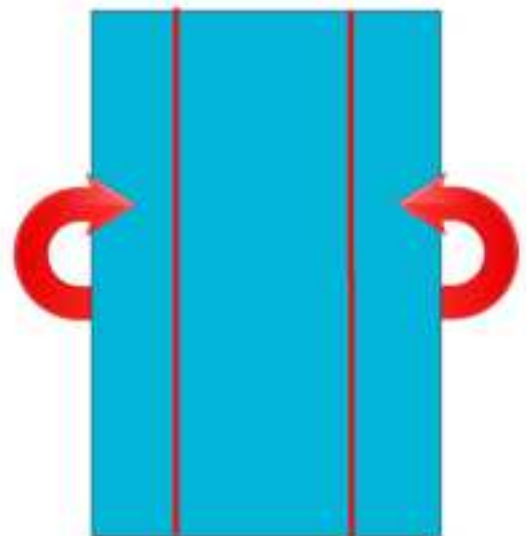
23. リボン下も同じように進める。

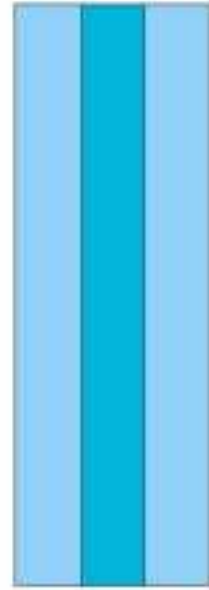
24. 中央パーツの周囲に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
 布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。

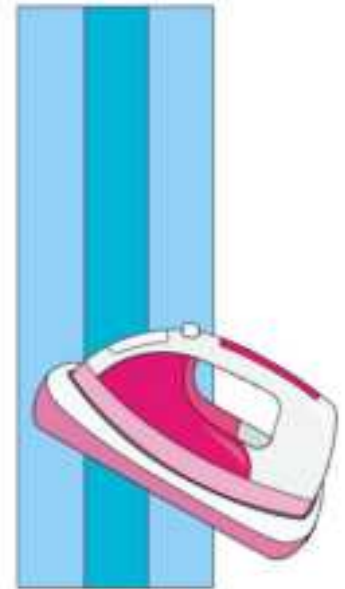


25. 両サイドを折る。





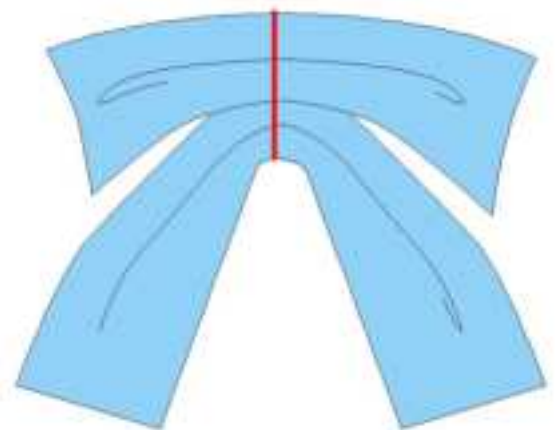
26. アイロンをかける。



【蝶結び帯 2 は 28 へ】

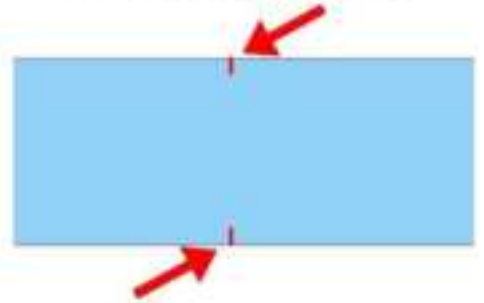
27. リボン上下を繋げる。

〔両サイドを縫い留めると簡単に固定出来る。〕

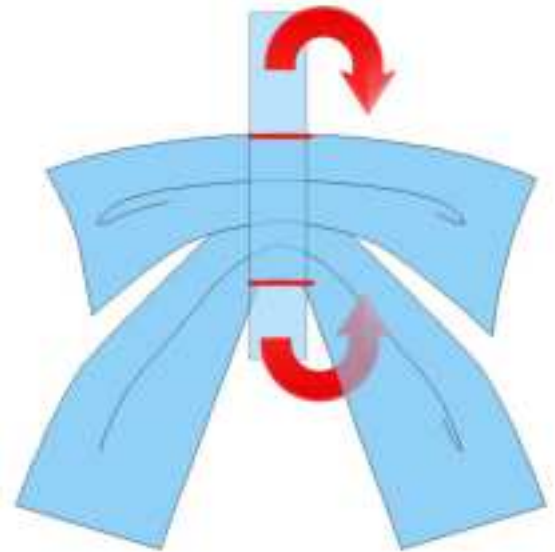


上から見た時

View from above

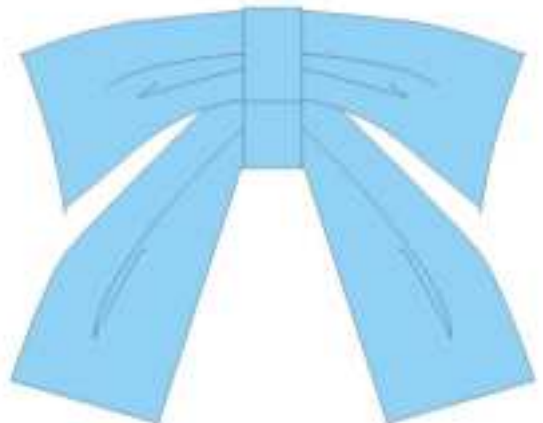


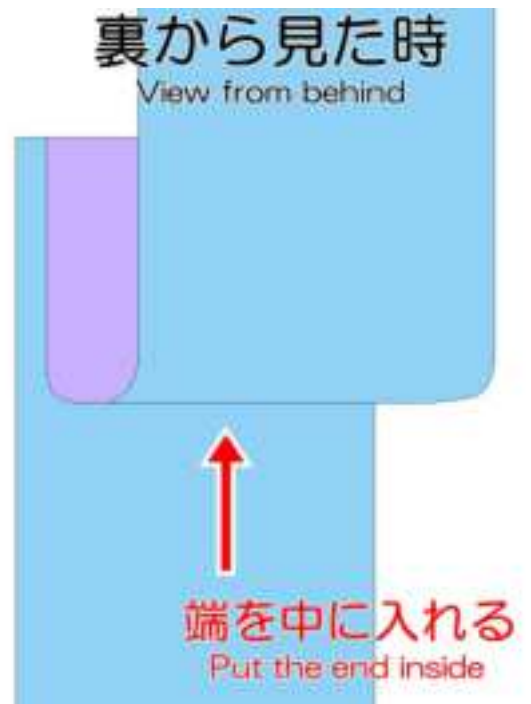
28. 中央部分をリボンに巻く。
〔上側を少し長めにする。
上側の端を中に折り込む。〕



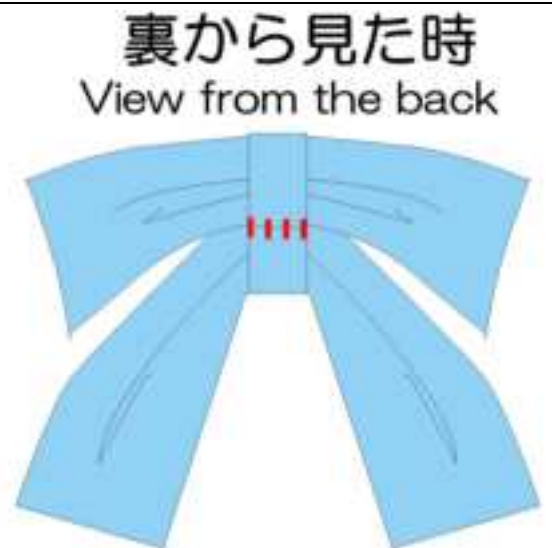
裏から見た時

View from the back

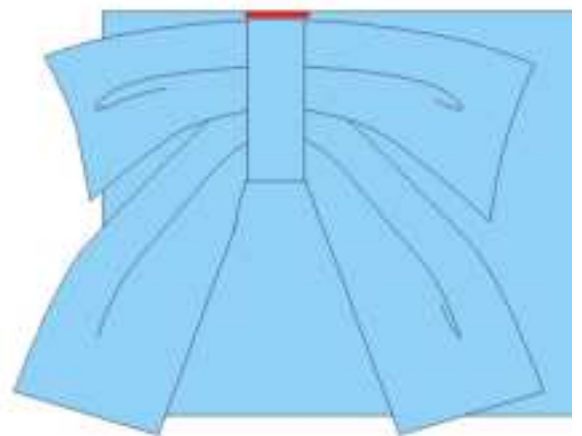




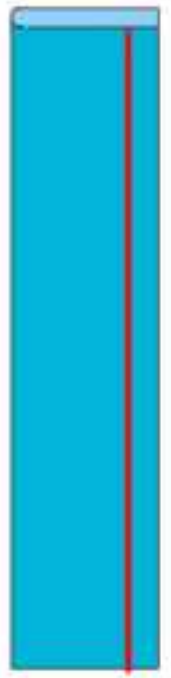
29. 折った部分を縫い留める。



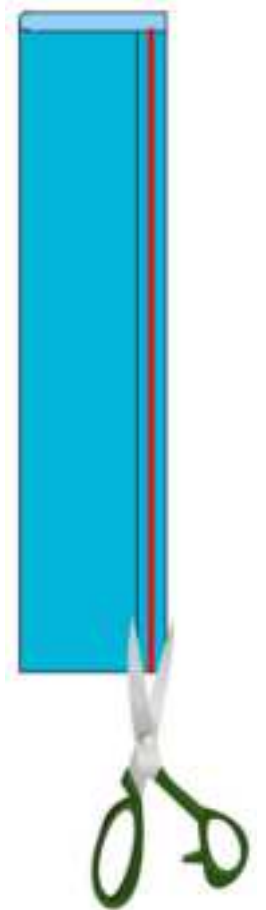
30. 帯本体に蝶結びを縫い付ける。



31. 帯揚げを表が内側になる様に折り、出来上がり線を縫う。

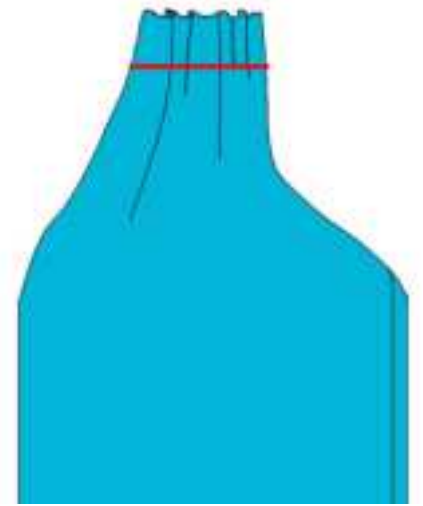
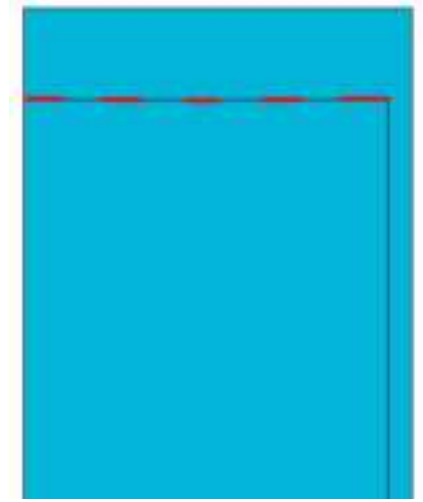


32. 縫い代を半分までカットする。



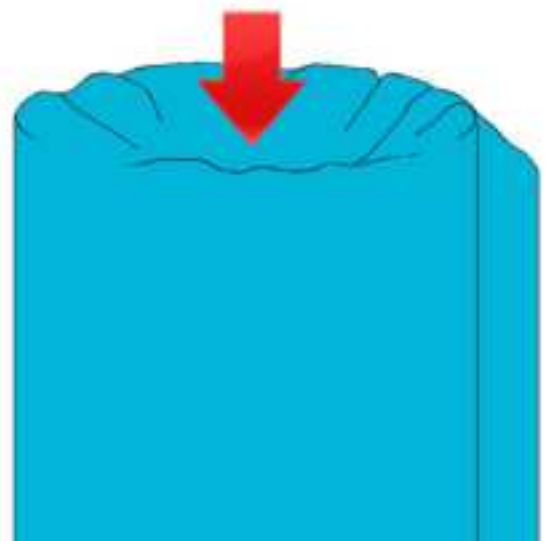
33. 片方の端を2~3mmの間隔で、
並縫いをして最後に糸を引っ張る。

〔並縫い：基本的手縫いの縫い方。
表と裏両方とも同じ目の間隔で縫う。〕

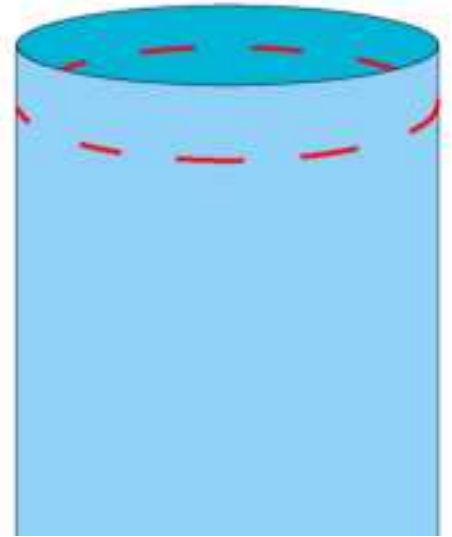


34. 縫ったところを凹ませて、
菜箸や竹串の背などで表に返す。

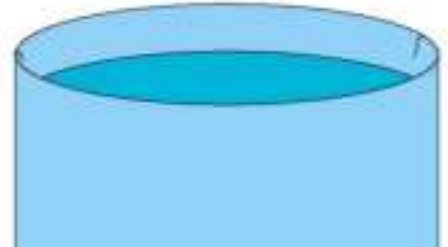
〔ループ返しやループターナーという、ひっくり返す
道具も売っているのでそちらもおすすめ。〕



35. 残りの端を一周、並縫いをする。
〔糸は切らない。〕



36. 縫い代を内側に折ってから、糸を引っ張って玉止めをする。



お疲れ様でした！